

2020年6月8日

天白土木事務所所長 三宅弘高様

相生山の四季を歩く会事務局 古川善嗣

連絡先（携帯）：080-5124-6463

mail：viva_forest@yahoo.co.jp

HP：http://lovelyearth.info/

相生山緑地内の名古屋市市有地への立ち入り許可について

私たちは相生山緑地において、2009年より自然観察を行い、気づいたことなどを都度、市に提案してきました。 参照：ホームページ、ブログ：相生山からのメッセージ

「オアシスの森」区域の通称「シンボルコナラ」南面は、以前の畑地が10～8年前から徐々に放棄され、2015年には名古屋市市有地となりました。

その後もそのまま草地としてあったため、相生山の生態系の象徴種であるヒメボタルをはじめとする野生の動植物が生息、生育する希少な区域として貴重な観測地でした。コナラやアカメガシワの実生からの生育、相生山では他に見られないガガイモやマメガキ、ナナフシモドキやチョウトンボも観察出来ました。昨年より、昆虫の観察会を実施していますが、大学生のお兄さんにバッタやチョウを手にとって教えてもらう子どもたちは生き生きしてほほえましいものでした。

ところが、一昨年からの「里山景観の復元」の名による畑地への再転換のため、自然の遷移は攪乱され、昨秋以降には上記の植生などが大量に伐採されてしまいました。囲いが出来、立ち入り禁止の様相を呈しています。

6月14日の「相生山の四季を歩く会」の定例観察会には、とくに昆虫類を調査観察したいと考えています。

つきましては、当該名古屋市市有地への少人数での立ち入りについて了解ください。お忙しいところ恐縮ですが、前々日の12日までに諾否の回答をお願いいたします。

以上